

2025 年度シラバス

科目分類/Subject Categories			
学部等/Faculty	/工芸科学部/工芸科学部 : /School of Science and Technology/School of Science and Technology	今年度開講/Availability	/有/有 : /Available/Available
学域等/Field	/全学共通科目/全学共通科目 : /Program-wide Subjects/Program-wide Subjects	年次/Year	/1 年次/1 年次 : /1st Year/1st Year
課程等/Program	/基盤教養科目/人間教養科目(2023 年度以前入学者) : /Liberal Arts/Liberal Arts(Course for students enrolled before 2023 academic year)	学期/Semester	/前学期/前学期 : /First term/First term
分類/Category	//工芸科学教養科目 : //Science and Technology Liberal Arts	曜日時限/Day & Period	/月 5 : /Mon.5

科目情報/Course Information				
時間割番号 /Timetable Number	10111512			
科目番号 /Course Number	10160214			
単位数/Credits	2			
授業形態 /Course Type	講義 : Lecture			
クラス/Class				
授業科目名 /Course Title	現代科学と倫理 : Ethics in Contemporary Science			
担当教員名 / Instructor(s)	/(岩崎 豪人) : IWASAKI Taketo			
その他/Other	インターンシップ実施科目 Internship	国際科学技術コース提供科目 IGP	PBL 実施科目 Project Based Learning	DX 活用科目 ICT Usage in Learning
	実務経験のある教員による科目 Practical Teacher			
科目ナンバリング /Numbering Code	B_PS1220			

授業の目的・概要 Objectives and Outline of the Course	
日	この講義では、現代科学にかかわる様々な問題を、倫理的に考える。科学技術倫理の基本的な考え方を学びながら、現実の問題への倫理的な対応を考える。根本的な所までさかのぼって、問題をとらえ直し、吟味、検討を行う。具体的な問題を取り上げながら、当たり前になっていることが、実はそうではないことを認識し、社会への理解と自分への理解を深める。
英	

学習の到達目標 Learning Objectives	
日	
英	

学習目標の達成度の評価基準 / Fulfillment of Course Goals (JABEE 関連科目のみ)	
日	
英	

授業計画項目 Course Plan			
No.		項目 Topics	内容 Content
1	日	第 1 回	科学と倫理

	英		
2	日	第 2 回	エンジニアリングの倫理
	英		
3	日	第 3 回	専門家の倫理
	英		
4	日	第 4 回	技術倫理の諸問題
	英		
5	日	第 5 回	技術倫理と教育
	英		
6	日	第 6 回	工学技術の本質
	英		
7	日	第 7 回	技術者の倫理
	英		
8	日	第 8 回	技術の哲学と倫理
	英		
9	日	第 9 回	科学技術とリスク
	英		
10	日	第 10 回	事故と責任
	英		
11	日	第 11 回	組織と安全
	英		
12	日	第 12 回	科学コミュニケーション
	英		
13	日	第 13 回	科学技術への市民参加
	英		
14	日	第 14 回	科学技術と規制
	英		
15	日	第 15 回	まとめ
	英		

履修条件 Prerequisite(s)	
日	
英	

授業時間外学習（予習・復習等） Required study time, Preparation and review	
日	授業中に発言を求め、議論を行うので、その用意をしておくこと。 授業で扱うテーマについて教科書の該当する箇所を前もって読んで考えておくこと。 本講義に対しては、67.5 時間の予復習に充てる自己学習時間が必要である。
英	

教科書／参考書 Textbooks/Reference Books	
日	「科学技術倫理を学ぶ人のために」 新田孝彦・蔵田伸雄・石原孝二編、世界思想社
英	

成績評価の方法及び基準 Grading Policy	
日	授業内の小レポート・ディスカッション（50％）と最終のレポート（50％）によって総合的に評価する。
英	

英	
留意事項等 Point to consider	
日	
英	